直近の決算日:
 令和 5年 5月 31 日

1. 団体の概要 団体名 (公社)	長崎県林業公社		設立目的、経緯及び根拠法					
団体名(公社)	長崎県林業公社		設立日的 経緯及び根拠法					
四体石 (公社)	女呵乐							
			【設立目的】					
設立年月日	昭和36年9月26日		造林、育林等による森林及び林業に関する事業を行うことにより、森林資源 を造成し、国土を保全し、森林の多目的機能を高揚し、あわせて国民生活の 安定向上に寄与することを目的とする。					
₹ 85	4-0063		【経緯】 (1) 昭和30年代当時、水産業のほかに、見るべき産業もなかった対馬にとって全島の88%を占める林野開発が急務となり、(社)対馬林業公社を設立、ま					
諫早市 5	津町1122番地6		た36年当時、県北地区では、炭鉱の斜陽とともに将来産業の確立が重要 題となり、(社)長崎県県北林業公社を設立した(44年(社)長崎県林業公社I 改称)。平成23年1月に両公社を合併した。平成24年6月から公益社団法 となる。 (2) 国、県、市町から資金を確保して分収方式による森林生産力を増強し、 林組合の育成強化を図り、人工林を拡大して、地域経済の振興を図り、地域					
TEL	0957-25-0346	6	の雇用拡大、所得の増加等に寄与した。 【根拠法】					
			(1) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく公益社					
Fax	0957-25-0347	,	団法人 (2) 分収林特別措置法に基づく森林整備法人					
E-Mail	soumu1@nagasaki-ri	ngyou.or.jp						
県所管課 農林	部 林政	課	定款等に定める事業					
主な出	資者 出資額(千円)	比率(%)	1. 造林、育林、伐採及び林産物の処分					
長崎	果 51,000	94.85	2. 水資源、緑資源その他国土の保全に必要な森林の造成及び維持管理3. 分収造林及び分収育林制度の促進					
本県市	7田丁 2,530	4.71	4. 農山村振興のための公共施設の設置又は改良(未実施) 5. 森林・林業・その他緑化に関する普及啓発					
資本金・ 基本金等の額 基本金等の額	1合 240	0.45	6. その他、公社の目的を達成するために必要な事業					
本本立寺の領 (千円)		0.00						
		0.00						
その	也	0.00						
総名	類 53,770	100.00						
ホームページURL https://v	vww.nagasaki-ringyou.	or.jp/						

2. 組織・	人員の状	況(3月3 ⁻	日現在)										
	区	分	R2	R3	R4	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民	間	その他
役員	常	勤	1	1	1	1							
(名)	非常	常勤	18	18	18			1		14		3	
	合	計	19	19	19	1	0	1	0	14		3	0
職員 (名)			R4	正規	職員 うち県OB	派遣 県職員	兼務県職員	非正	規職員 うち県OB	他自治体	民	間	その他
	19	18	17	8				9	2				
1人当たり	リ人件費(年	F度推移)		R	2	F	13	R4		平均年齢		賞	与月数
常勤役	員報酬年額	預(千円)		*			*	*		* 歳			
正規職	員平均給料	料月額(千)	円)	271		272		292		46	歳		3.75 月
1人当たり	ノ人件費(R	4、年代別)	20代以下 3		30代	40代		50代	60代以.	Ŀ		
正規職	員平均給邾	料月額(千)	円)			210		295	332				
各年代	別正規職員	員数(名)		2 2 4									
					県の	役職		団体での役職				区分	
県か	らの常勤又	ては非常勤)役員	農林部長				理事長					非常勤
Ŧ	記役員以	外の顧問	等										
	県派遣又は	は兼務職員											
	ババルとというパックリックで												

【共通】

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き) 組織図 社員総会 24 名 事務局 理事会 17 名 代表理事 1 名 事務局長 1 名 専務理事 名 総務課 3 名 理事 15 名 業務課 9 名 対馬事務所 3 名 県北事務所 2 名 監事 2 名

3. 県財政負担の状況(千円)							
〈当年度受入客	頁〉	〈当年度末残高〉					
補助金	657,108	貸付金残高	23,451,060				
負担金		損失補償•債務保証残高	3,202,128				
委託料	9,500						
貸付金	182,250						
損失補償·債務保証額							
出資金							

4. 県の政策との関連性

- 1 政策目標
- ■農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化 【長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025】
- ■県産木材・特用林産物の生産拡大【第3期ながさき農林業・農山村活性化計画】

森林所有者に対して集約施業による効率的な森林整備を提案し、路網整備と高性能林業機械の導入を支援し低コストの搬出間伐を推進するとともに、皆伐にも取り組み、県産材の安定供給を推進する。林業公社においても、路網整備等を行い、搬出間伐の増加を図り、県産木材の生産倍増に寄与する。

2 県との役割分担

		県の役割		団体の役割				
間に必要	三旦り収入がない状態 があるため、補助金	自己資金がなく、造林から付 長で造林や維持管理等の費 会等の交付、無利子貸付に 金の損失補償ほかの支援	費用を負担する よる資金供給、	森林所有者に代わり戦後荒廃した森林の復元と木材の安定供給に対応するため、分収林契約(土地所有者と林業公社とで伐採収入を一定割合で分け合う契約)により、造林、育林から伐採、販売まで一連の事業を行なう。				
		団体に委ねる理由			説明			
0	県が直接実施するよ	りも効果的・効率的に事業実	施可能	林業公社は、長年に亘り森林の造成、管理、販売等の技術、ノウハウを 蓄積しており、現地を熟知している。また、公的機関として森林・林業施				
	県が直接実施する	ことが困難		策を担っており、造林から伐採までに長期を要し、公益的機能を有する 森林の整備、管理等については、林業公社に委ねることで効果的、効率				
	その他			的に事業実施することができる。				
3 }	事業実施状況							
	事業名	事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性			
1	分収林事業	造林・育林・伐採及び林 産物の販売	1,084,895	搬出間伐 788ha 作業道 75,928m	間伐事業費は、計画から約44百万円の事業費削減に努める一方、販売収入は、約80百万円の増収となった。今後も効率的な事業運営で更なる経営改善を図る。			
2	経営管理事業	分収林事業以外の森林 整備関連事業	8,775	システムモデル事業 1件	分収林事業以外での森林整備関連事業に取り組み、ある程度の実績を残した。今後も積極的に取り組み、経営改善を図る。			
3								

【共通】

구	出金	経営計画等の進捗状況・事業	日煙の達成	计记				◎ 達成	〇一部	達成 ×	未達成	一 未実施
	Мо.	<u>年呂前 画寺の定物仏派・争来</u> 項目名	日保い足以	F	R4		計	<u>● 建成</u> 画上の目標		连队 ^	最終年度	達成状況
ļ	NO.	切口口 ロー		実	績	R2	R3	R4	R5	R6	(R)	连风机机
		森林整備(搬出間伐) 788ha 691ha 700ha 709ha 719ha 730ha										0
		(目標値設定の根拠・考え方)										
	1	・森林の公益的機能の維持、向上、木材の安定供給等を図るため、適切な森林整備を実施する。										
		(翌年度に向けての改善事項等)									
		・引き続き森林の下刈り等に。	よる維持、管	管理を	行なうと	こともに、排	般出間伐の対	曽加を図る。	·			
ŀ	No.	項目名			R4			画上の目標			最終年度	達成状況
-	140.	間伐収入の確保・未利用材の) 迁田 レ答		<u>積</u> 42	R2 395	R3 455	<u>R4</u> 467	R5 489	R6 528	(R)	足,次,7,7
		理費の削減	//IMC E		万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円		0
	_	(目標値設定の根拠・考え方)										ı
	_											
		(翌年度に向けての改善事項等) ・引き続き搬出間伐収入の確保、未利用材の有効活用と管理費の縮減により財務体質の改善を図っていく。										
		・引き続き搬出間伐収入の確 	保、未利用	材の	有効活用	用と管理費	貴の縮減に。	より財務体質	質の改善を	図っていく。		
ı	No.	項目名		F	R4実績		公社経営会					達成状況
Ļ	NO.	タロ つ		目	R2		公社経営会					连队认//
				標	R3		公社経営会 公社経営会					
		 経営改善			R5	R4 林業公社経営会議の開催 R5 林業公社経営会議の開催					0	
1		120 310		値	R6		公社経営会					Ŭ
1		7日播体弧点《扫描》 ************************************		最終	年度(R)林業	公社経営会	議の開催				
<u> </u>	3	(目標値設定の根拠・考え方)	 +- +- 40 4+	/_ #-II	o +# //r	4 2 24 ++ 00	1014 U. + III		7 0 1444.	II. 20 224-	7- * ~ '= *	dbana -
1	9	・第7次経営計画に沿った効率 いて、林業公社経営会議を開							、その進捗	仄 况、経宮	収香の達成	状况につ
		(翌年度に向けての改善事項等		1200	-0.00	EVER J. O. E. I		~., 00				
		・効率的な組織体制や経営改		直	を進める	ろレレキバニ	林業公社	な学会議に	おける安観	的な評価		計画等定
		や今後の運営に生かしていく		CEC	E 1E 07.0	عاد د ناح	、1小木 A 11 1	4日 女 哦 1〜	0317.07 D .EVI	いい。	大皿で作品	пшжк
		・分収林事業以外でも森林整	備の促進を	図る	目的で新	森林経営:	ノリューション	ノ事業等に	取り組み、新	新たな収益	の確保を図	る。
	NI-	百日夕			74実績	林業	公社全体会議	養の開催、各	種研修会へ	の参加		達成状況
	No.	項目名			R2 林業公社全体会議の開催、各種研修会への参加							達成状况
		・職員研修の実施並びに各種研修会へ			目 R3 林業公社全体会議の開催、各種研修会への参加							
				標								
		の参加及び資格の取得 ・専門家の活用			ー R5 林業公社全体会議の開催、各種研修会への参加						0	
									1 = T = 1 + A			
					R6		公社全体会議					
		(日種は恋字の担切・老さち)		最終	年度(R		公社全体会請 公社全体会請					
	4	(目標値設定の根拠・考え方) ・林業公社職員全体会議を年	1回開催し		年度(R)林業	公社全体会請	銭の開催、各	種研修会へ	の参加	ルアップを図	るととも
	_	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を	図る。	、職員	年度(R の研修) 林業: を行う。 a	公社全体会議	後会への	種研修会へ	の参加		
)	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化	- 図る。 し、市場を加	、職員	年度(R の研修) 林業・ を行う。 する必要	公社全体会議	後会への	種研修会へ	の参加		
)	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を	E図る。 し、市場を加 加工等各業	、職員	年度(R の研修) 林業・ を行う。 する必要	公社全体会議	後会への	種研修会へ	の参加		
)	・林業公社職員全体会議を年 に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化 加えて、木材の販売、流通、カ	を図る。 し、市場を加工等各業)	、職員に範囲を	年度(R の研修 Iに開拓 の需要)林業を行う。まする必要 動向を調	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。	後の開催、各 修会へのを	種研修会へ 参加により取	の参加		
)	・林業公社職員全体会議を年 に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化 加えて、木材の販売、流通、 (翌年度に向けての改善事項等	を図る。 し、市場を加工等各業 加工等各業	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 の需要)林業・ を行う。る する必要 動向を訓 参加を促し	公社全体会議また、各種研があることが 調査する。	機の開催、各 修会へのを いら、木材則	種研修会へ参加により耶克売に精通し	の参加 戦員のスキル た専門家と		
		・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門	を図る。 し、市場を加工等各業 加工等各業	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 の需要 会へのき 業公社系)林業・ を行う。る する必要 動向を訓 参加を促し	公社全体会計また、各種研があることがあることがあるする。	像の開催、各 修会への参 いら、木材助 に力向上を優 見を踏まえ	種研修会へ参加により耶克売に精通し	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
)	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、 (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、	を図る。 し、市場を加工等各業 加工等各業	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 の需要)林業・ を行う。る する必要 動向を訓 参加を促し	公社全体会議また、各種研があることが 調査する。	機の開催、各 修会へのを いら、木材則	種研修会へ参加により耶克売に精通し	の参加 戦員のスキル た専門家と		
Į	No.	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名	を図る。 し、市場を加工等各業 加工等各業	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 の需要 会への報 業公社系)林業・ を行う。る する必要 動向を訓 参加を促し	公社全体会計また、各種研があることがあることがあるする。	続の開催、各 修会への がら、木材則 がら、木材則 に力向上を 見を踏まえ R4	種研修会へ 参加により耶 東売に精通し 図っていく。 、市場開拓	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
last shill	No.	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門	E図る。 し、市場を加工等各業) また、各種 家で構成す	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 この需要 会への 業公社系 R2 755)林業 を行う。ま する必要 動向を割 参加を促 経営会議 3ha 1ha	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。 二、職員の能 の委員の意 R3 785ha 780ha	を を を を を を を を を を を を を を	種研修会へ 参加により耶 東売に精通し 図っていく。 、市場開拓 96ha 88ha	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
Į	No.	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名	E図る。 し、市場を加工等各業 加工等各業 、また、各種成 (計画) (実績) (計画)	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 の需要 会への 業公社 R2 75 75 96,04)林業 を行う。ま する必要 動向を割 参加を促 経営会議 3ha 1ha	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。 二、職員の能 の委員の意 R3 785ha 780ha 101,570m	を を を を を を を を を を を を を を	種研修会へ 参加により耶 東売に精通し 図っていく。 、市場開拓 96ha 88ha 030m	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
‡ ‡	No. ①	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設	E図る。 し、市場を加工等各条 加工等各条) 、また、株成す (計画) (実画) (実画) (実績)	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 の需要 会への 業公社 R2 75: 75 96,04 105,44	が業等を行う。ままを行う。ままを行う。まままでは、 する必要動向を制 参加を促送会議 の加を開発を対象をは、 11ha 11ha 11ha 11ha 11ha 11ha 11ha 11ha	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。 へ、職員の能 の委員の意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m	を を を を の を を の を を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	種研修会へ 参加により耶 気売に精通し 型っていく。 、市場開拓 96ha 88ha 030m 028m	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
‡ ‡	No. ①	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐	E図る。 し、市場を加工等各業 加工等各業 、また、各種成 (計画) (実績) (計画)	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 会への 業公社 R2 75: 75 96,04 105,44 39,95	が 林業 を行う。 する必要 動向を 参加を促送 会営会議 3ha 1ha 10m 1.7m 1m ³	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。 二、職員の能 の委員の意 R3 785ha 780ha 101,570m	を を を が の が の に が の に る の に の 。 の に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	種研修会へ 参加により耶 東売に精通し 図っていく。 、市場開拓 96ha 88ha 030m 028m 37m ³	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
	No. 1 2 3	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設	E図る。 し、工等各を加工等各を成加工等各様成 は、また、構成するで構成する。 (計画) (実画) (実画) (実画)	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 の需要 会への 業公社 R2 75: 75 96,04 105,44	が 林業 を行う。 する必要 動向を 参加を促送 会営会議 3ha 1ha 10m 1.7m 1m ³	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。	を を を が の が の が の を が の を が の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	種研修会へ 参加により耶 気売に精通し 型っていく。 、市場開拓 96ha 88ha 030m 028m	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
	No. 1 2 3	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、プ (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設 素材生産販売事業(間伐)	E図る。 し、工等各を加工等各を素) 、また、構成す (計画) (実画) (実画) (実画)	、職員な範囲種から	年度(R の研修 に開拓 会への 業公社 R2 75: 75 96,04 105,44 39,95	が 林業 を行う。 する必要 動向を 参加を促送 会営会議 3ha 1ha 10m 1.7m 1m ³	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。	を を を を を を を を を を を を を を	種研修会へ 参加により耶 東売に精通し 図っていく。 、市場開拓 96ha 88ha 030m 028m 37m ³	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を強	
東	No. ① ② ③ ③ ③ ③ ③	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売等の専門では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	E図る。 し、工等各を加工等各を素) 、また、構成す (計画) (実画) (実画) (実画)	職員の個人の	年度(R の研修 に開拓 会への 会業公社 R2 75 96,04 105,44 39,95 44,350	が 対 する必要 動向を 影を を営会 参加を の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。 つ、職員の能 の委員の意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m 44,161m ³ 46,848m ³	様の開催、各 修会への がら、木材助 に力向上を 見を踏まえ R4 7 7 88.0 75.5 43.0 43.8	種研修会へ 参加により耶 表売に精通し 図っていく。 、市場開拓 96ha 88ha 030m 028m 37m ³ 29m ³	の参加 戦員のスキル た専門家と	との連携を発	食化する。
東	No. ① ② ③ ③ ③ ③ ③	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設 素材生産販売事業(間伐) 持する効果の実現)	E図る。 し、工等各を加工等各を素) 、また、構成す (計画) (実画) (実画) (実画)	、は種 研る 当あっ	年度(R の研修 に開拓等 会業公社系 R2 75: 96,04 105,44 39,95: 44,350	が業 を行う。 る する必要 動向を 影をと 参格 のか のか が のか のか のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	公社全体会計 また、各種研 があることが 調査する。 の委員の意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m 44,161m ³ 46,848m ³	を を を を を を を を を を を を を を	種研修会へ 参加により耶 表売に精通し 図っていく。 、市場開拓 96ha 88ha 030m 028m 37m ³ 29m ³ 理由 額、当期一	の参加 戦員のスキル た専門家と に努める。	との連携を発	食化する。
また 見	No. ① ② ③ ③ * * * * * * * * * * * *	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売等の専門では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	E図る。 しい工等各 ・場をが ・また、株成 ・また、株成 ・(計画績) ・(実計画績) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積)	、は種研る 当あ一 当あ一 当あ一	年度(R の研修 同に開需 会業 名公社 R2 75: 75 96,04 105,44 39,95: 44,350 経営。企場	が *** **を行う。 ままままで まままで ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま	公社全体会計 また、各種研 があることが 調査する。 の委員の能 R3 785ha 780ha 101,570m 84,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、当其 は5期連続の	を を を を を を を を を を を を を を	種研修会へ 参加により耶 売に精通し 図ってい場構 図った場開 図った場開 図った場開 図った場別 の市場 ののでは、	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	備考	能化する。
	No. ① ② ③ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設 素材生産販売事業(間伐) 持する効果の実現) 評価結果 ・実現しているが未実現の部分	E図る。 しい工等各 ・場をが ・また、株成 ・また、株成 ・(計画績) ・(実計画績) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積)	、は種研る 当あ一 当あ一 当あ一	年度(R の研修 同に開需 会業 名公社 R2 75: 75 96,04 105,44 39,95: 44,350 経営。企場	が *** **を行う。 までいる 要いの を記します。 までいる の を記します。 までいる の を記します。 またい をはまれる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	公社全体会計 また、各種研 があることが 調査する。 の委員の能 R3 785ha 780ha 101,570m 84,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、当其 は5期連続の	を を を を を を を を を を を を を を	種研修会へ 参加により耶 売に精通し 図ってい場構 図った場開 図った場開 図った場開 図った場別 の市場 ののでは、	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	との連携を発	能化する。
人	No. ① ② ③ ③ ・ 類和 概ね 実現	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、が (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設 素材生産販売事業(間伐) 持する効果の実現) 評価結果)実現しているが未実現の部分 できていない	E図る。 しい工等各 ・場をが ・また、株成 ・また、株成 ・(計画績) ・(実計画績) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積)	、は種研る 当あ一 当あ一 当あ一	年度(R の研修 同に開需 会業 名公社 R2 75: 75 96,04 105,44 39,95: 44,350 経営。企場	が *** **を行う。 までいる 要いの を記します。 までいる の を記します。 までいる の を記します。 またい をはまれる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	公社全体会計 また、各種研 があることが 調査する。 の委員の能 R3 785ha 780ha 101,570m 84,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、当其 は5期連続の	を を を を を を を を を を を を を を	種研修会へ 参加により耶 売に精通し 図ってい場構 図った場開 図った場開 図った場開 図った場別 の市場 ののでは、	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	備考	能化する。
人	No. ① ② ③ ③ ・ 類和 概ね 実現	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、プログラインででは、大大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大大の判定、フログラインでは、大力の資格を受け、大力のでは、大力の資格を受け、大力の対象を受け、大力の対象を受け、大力の対象を受け、大力を受け、大力の対象を受け、大力を受け、大力の対象を受け、大力を受け、大力を使うでは、大力の対象を使うでは、大力の対象を使うでは、大力を使うでは、大力の対象を使うでは、大力を使うでは、大力の対象を使うでは、大力の対象を使うでは、大力を使うでは、大力を使うでは、大力を使うを使うでは、大力を使うでは、大力を使うを使うでは、大力を使うを使うでは、大力を使うを使うでは、大力を使うを使うでは、大力を使うを使うを使うでは、大力を使うを使うを使うを使うを使うを使うを使うを使うを使うを使うを使うを使うを使うを	E図る。 しい工等各 ・場をが ・また、株成 ・また、株成 ・(計画績) ・(実計画績) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積) ・(実計画積)	、は種研る 当あ一 当あ一 当あ一	年度(R の研修 間に開需 会業 への社 R2 75: 75 96,04 105,44 39,95: 44,350 経営。企場	が *** **を行う。 までいる 要いの を記します。 までいる の を記します。 までいる の を記します。 またい をはまれる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	公社全体会議 また、各種研 があることが 調査する。 二、職員の前意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、当其 よた第7次経	原 原 原 原 に に に に に に に に に に に に に	種研修会へ 参加により耶 売に精通し 図ってい場構 図った場開 図った場開 図った場開 図った場別 の市場 ののでは、	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	備考	食化する。
	No. ① ② ③ * 期 ※ 第 ※ 第 ※ 第 ※ 第 ※ 第 ※ 第 ※ 第 ※ 第 ※ 第 ※	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化加えて、木材の販売、流通、プログラインででは、大大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大村の販売、流通、プログラインでは、大大の判定のできていないでは、大大の判定の関係を表表しているのできていないでは、大大の判定の関係を表表しているのできていない。 ・対策を表表しているが、大大の判定の関係を表表しているのできていない。 ・対策を表表しているが、大大の判定の関係を表表しているのできていない。 ・対策を表表しているが、大力の判定の関係を表表しているが、大力の判定の関係を表表しているが、大力の判定の関係を表表しているが、大力の判定の関係を表表しているが、大力の判定の関係を表表している。 ・ は、、	E図る。 しい工等名 ・場等名 ・場等名 ・表成す ・まで構成す ・(計画) ・(大き) ・(大	、 は種 研る 当あ一平 当あ一平	年度(R の研修 に開拓 会 会業 (A (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	*** **	公社全体会議 また、各種研 があることが 別査する。 「の委員のの意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、当其 よた第7次経	を 「修会への。 「修会への。 「作る。 「作る。 「作る。 「作る。 「できる。 「で。 「で。 「できる。 「できる。 「で。 「で。 「できる。	種研修会へ 参加により耶 売に精通し では、開拓 96ha 88ha 1300m 928m 37m ³ 29m ³ 理由 類、経引き続	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	備考	能化する。
	No. ① ② ③ が期 和 お 現 理 連 月 期	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化 加えて、木材の販売、流通。」 (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設 素材生産販売事業(間伐) 持する効果の実現) 評価結果 シ実現しているが未実現の部分 できていない 成状況の判定) 判定項目 経営計画の策定	E図る。 しい工等名 ・場を成す ・また、構成す ・まで構成す ・(計画) ・(実画) ・(計画) ・(大き)	、 は種 研る 当あ一平 経営 期づ方成 営	年度(R の研修 に開拓書 会業 公社系 R2 75: 75 96,04 105,44 39,95: 44,35(経過では、 29年2月 計画(計	*** **	公社全体会議 また、各種研 があるる。 のの意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、連続経 である、連続経 にようにある。	原 原 原 所 に を に に に に に に に に に に に に に	種研修会へ 参加により耶 売に精通し では、開拓 96ha 88ha 1300m 928m 37m ³ 29m ³ 理由 類、経引き続	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	備考	金化する。
	No. ① ② ③ が期 1 分 ね 現 連 期 期	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化かえて、木材の販売、流通。」 (翌年度に向けての改善事項等・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門項目名) ・引き続き木材販売等の専門項目名 搬出間伐 作業路開設 素材生産販売事業(間伐) ・・する効果の実現) 評価結果 ・・実現しているが未実現の部分できていない できていない 成状況の判定) 判定項目 経営計画の目標達成	E図る。 ・場各 ・場等各 ・場等を ・表で ・は、実計画 ・は、実計画 ・は、実計画 ・は、実計画 ・がある ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「は、まで ・「ない。」 ・「ない。 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「な、 ・「な、 ・「ない。 ・「ない。 ・「ない。 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「な、 ・「、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、 は種 研る 当あ一平 経をを	年度(R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R)	*** **	公社全体会議 また、各種研 があるる。 八の委員の意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、連続経 である、連続経 により、真に無いない。	原 原 原 所 に を に に に に に に に に に に に に に	種研修会へ 参加により耶 売に精通し では、開拓 96ha 88ha 1300m 928m 37m ³ 29m ³ 理由 類、経引き続	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	備考	金化する。
また。 	No. ① ② ③ 刈押 十 概 実 連 中中事	・林業公社職員全体会議を年に、各種の資格取得の奨励を ・広報活動、営業活動を強化 加えて、木材の販売、流通。」 (翌年度に向けての改善事項等 ・引き続き職員研修を実施し、・引き続き木材販売等の専門 項目名 搬出間伐 作業路開設 素材生産販売事業(間伐) 持する効果の実現) 評価結果 シ実現しているが未実現の部分 できていない 成状況の判定) 判定項目 経営計画の策定	E図る。 しい工等名 ・場を成す ・また、構成す ・まで構成す ・(計画) ・(実画) ・(計画) ・(大き)	、 は種 研る 当あ一平 経を目標	年度(R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R)	*** **	公社全体会議 また、各種研 があるる。 のの意 R3 785ha 780ha 101,570m 88,326m 44,161m ³ 46,848m ³ である、連続経 である、連続経 にようにある。	原 原 原 所 に を に に に に に に に に に に に に に	種研修会へ 家売に精通し では、 では、 の市場開拓 では、 のでは	の参加 競員のスキル た専門家と に努める。	備考	食化する。

【公益法人会計基準適用法人用】			直近の決算日:	令和	5 年 5	月	31 日
6. 財務の状況					(単位:	千円、%)
項目	R2		R3		R		
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額		対前年度比
【貸借対照表】							
流動資産	679,692	112.00	927,57			7,041	97.79
うち金銭債権額	408,540	168.89	426,77			0,919	79.88
固定資産	41,087,819	99.38	40,942,28	0 99.65	40,887	7,423	99.87
基本財産		_		_			-
特定資産	12,554,445	99.58	12,583,98		12,695	-	100.88
その他固定資産	28,533,374	99.30	28,358,29		28,192	-	99.41
資産合計(A)	41,767,511	99.57	41,869,85		41,794	1,464	99.82
流動負債	419,101	91.61	519,47			3,844	103.73
うち短期借入金	266,848	92.97	265,56		268	3,768	101.21
固定負債	29,620,456	99.90	29,577,85		29,519		99.80
うち長期借入金	29,562,547	99.89	29,516,53	6 99.84	29,456	3,045	99.80
うち退職給付引当金	46,639	108.83	50,74	5 108.80	52	2,741	103.93
負債合計	30,039,557	99.78	30,097,33	6 100.19	30,058	3,004	99.87
指定正味財産	11,997,724	99.20	11,946,64	7 99.57	11,866	6,840	99.33
一般正味財産	-269,769	107.26	-174,13	1 64.55	-130	0,380	74.87
正味財産合計(B)	11,727,955	99.03	11,772,51	6 100.38	11,736	6,460	99.69
団体債務保証額				_			-
【正味財産増減計算書】	!						
経常収益(C)	1,325,072	117.64	1,393,25	8 105.15	1,382	2,252	99.21
うち受託事業収入	5,276	174.82	6,84	6 129.76	8	3,600	125.62
うち補助金収入	842,759	117.21	761,40	3 90.35	771	1,009	101.26
うち基本財産等運用益収入		-		_			-
うち自己収入(D)	475,903	118.04	624,19	3 131.16		2,320	96.50
うち県財政支出額(E)	734,309	103.57	690,14	5 93.99	605	5,107	87.68
経常費用	1,085,553	109.91	1,088,65	5 100.29	1,151	1,421	105.77
事業費	981,340	110.85	981,41	1 100.01	1,055	5,452	107.54
うち人件費(F)		_		_			-
管理費(G)	104,213	101.83	107,24	4 102.91	95	5,969	89.49
うち人件費(H)	70,775	96.69	50,99	0 72.05	52	2,751	103.45
当期経常増減額(I)	239,519	172.70	304,60	3 127.17	230	0,831	75.78
経常外損益	-257,768	148.78	-208,96	5 81.07	-187	7,080	89.53
当期一般正味財産増減額(J)	-18,249	52.79	95,63		43	3,751	45.75
当期指定正味財産増減額(K)	-96,551	131.24	-51,07	7 52.90	-79	9,807	156.25
(会計方針の変更による影響額)		-		_			-
【収支計算書等】							
当期収入	1,472,458	103.58	1,563,68	2 106.20	1,516	3,451	96.98
当期支出	1,412,154	89.73	1,450,81	0 102.74	1,570		108.25
当期収支差額(L)	60,304	-39.60	112,87	2 187.17	-54	1,042	-47.88
次期繰越収支差額(M)	368,370	119.58	481,24			7,200	88.77
【会計単位別】	経常収益 紹	常費用	当期経常損益	当期収入	当期支出	当期	収支差額
一般会計	1,382,252	1,151,421	230,831	1,516,451	1,570,493		-54,042
特別会計							
合 計	1,382,252	1,151,421	230,831	1,516,451	1,570,493		-54,042
夕中な半はの地は四十五が夕ぼコル			-				

各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等

- (1)B/S流動資産の減の主因は、未収金の減少(分収林事業未収金の減)による。

- (2)B/S固定資産は減少傾向にあるが、間伐予定の高齢の森林資産が流動資産に計上されることによる。 (3)B/S流動負債の増の主因は、未払金の増加(分収交付金と請負費の未払増)による。 (4)B/S固定負債「場別借入金」は、超長期を要する森林育成のために、補助金収入」や「自己収入」での不足分を調達している。
- (5)B/S固定負債「退職給付引当金」は、定年または自己都合退職に伴う支給に備えて計上している。
- (6)P/L経常収益は、前年度とほぼ同額であった。 (7)P/L経常用の増は、直接事業費、受託事業費の増加による。
- (8)収支計算書「当期収支差額」は、前期の償還準備積立資産取得等支出費用が含まれており、当期実質収支は135,159千円の黒字であ る。

(財務	(財務状況の判定)								
	判定項目	R2 R3				R4			
	刊足垻口	数值·比率	数值•比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	対前々年度比	点数	
1	当期経常増減額率(I/C)	18.08	21.86	120.95	16.70	76.38	92.39	-1.5	
2	当期一般正味財産増減額率(J/C)	-1.38	6.86	-498.42	3.17	46.11	-229.83	-1.0	
3	当期指定正味財産増減額(K)	-96,551	-51,077	52.90	-79,807	156.25	82.66	-1.0	
4	正味財産比率(B/A)	28.08	28.12	100.13	28.08	99.87	100.01	0.0	
⑤	次期繰越収支差額(M)	368,370	481,242	130.64	427,200	88.77	115.97	-1.0	
6	県財政支出率(E/C)	55.42	49.53	89.39	43.78	88.38	79.00	0.0	
7	自己収入比率(D/C)	35.92	44.80	124.74	43.58	97.26	121.33	0.0	
8	管理費比率(G/C)	7.86	7.70	97.87	6.94	90.20	88.28	0.0	
			合計					-4.5	

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定							
(団体の自己評価)							
「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	2.5	\rightarrow	総合判定	В			
5点以上:A	-5点以上	-~5点未清	5:B −5点未満:C				
概ね良好 改善		也あり	一層の努力が必要				

※事業活動・経営の努力・今後の課題及び改善事項等

・造林事業は収穫までに長期間を要することから、その間の事業費は造林補助金と日本政策金融公庫・県・市町の借入金でまかなわれており、実質は借入金により資産を形成している。林業公社の新規植林は平成13年度に終了しており、現在は投資期を終えつつあり、既造林地 の収穫期へと移行している。

・平成16年度に策定した「第6次経営計画」において、地域民有林の模範となるべく、長伐期施業への転換を図り、「森林機能の維持と木材生 産の調和」に積極的に取り組んだ。また、平成22年度には、「林業公社経営会議」(外部有識者により構成)を開催し、第6次経営計画の見直 しを行ったうえで経営改善に着実に取り組んできた。

- ・林業公社においては、これらの計画策定以前も含め、以下の経営改善を実行してきた。
- ① 県・市町借入金の無利子化(H12年度)、償還期限延長(40年→60年)(H16~18年度)
- ② 農林漁業金融公庫資金の低利資金への借り換え(H12年度:分収林機能高度化資金、H17~19年度:施業転換資金)
- ③ 組織の統廃合等(S62年度:長崎・対馬両公社の事務局統合,五島事務所の廃止、H22年度:両公社の合併、H24年度:公益法人への移 行)
- ④ 管理費の削減(H12~13年度:職員不補充・嘱託化,昇給延伸等、H15年度~:職員数削減,契約職員化,昇給停止,給料・退職金削減等)
- ⑤ 分収林契約の見直し(H17年度~: 分収率の引下げ(4割→私有地3割・公有地2割) 契約期間の延長(50年→80年))
- ・経営改善の最重点課題である分収林契約の見直しについては、第6次経営計画策定時の10年計画を3年計画に短縮し、契約変更専属班 を設置して集中的に推進した結果、平成22年度末で目標の80%を上回る成果があった。
- を配置して米下町に座した幅水、「加工工程水・10年のの地上口の水があった。 今和4年度末においては、分収率の引下げ92.0%、伐期の延長962%を達成し、経営改善に大きく寄与している。 ・現在は、平成29年2月に策定した第7次経営計画に基づき、引き続き経営改善を図っている。
- 計画では、全森林において、間伐の繰り返しにより、最大の収穫材積となる長伐期施業に取り組むこととしている。
- ・今期は、搬出間伐の事業拡大、協定販売、低質材の輸出、バイオマス発電用材販売の促進等に取り組んだ結果、経常収益1,382,252千円
- と、ウッドショックで価格が急騰した前年度とほぼ変わらず、当期経常増減額は230.831千円増額した。 ・新規借入額は、第7次経営計画での借入予定額を下回りつつ、借入金償還額が新規借入額を上回っており、借入残高は年々減少してい

(県の評価)		
		※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由
		(加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)
合計点数	5.0	① 経営環境は、木材価格が長期低迷にあったことから、厳しい状況にあるが、平成29年2月に策定した第7次経営計画に基づき、管理費削減、分収契約の変更、販売対策など、引き続き経営改善を進めている。 ② 分収契約の変更(長伐期施業への転換、分収率の引下げ)は、第7次経営計画での目標率95%をほぼ達成する
		成果を上げている。 ③ 販売収益の確保のために、協定販売を核として木材生産量を増加させ、木質バイオマス燃料等への未利用材販
総合判定	Α	売や海外輸出などの多様な需要に応じた生産に取り組んでいる。 ④ 生産経費の削減を目指し、トラック運搬の大口ット単価契約や、間伐委託事業の発注方式等の大口ット化、プロポーザル、発注時期平準化等に取り組んでおり、成果を上げている。 ⑤ 補助制度を効果的に活用し、搬出間伐量の増大による販売収益の確保や作業路の整備による将来の生産コストの削減に努めている。 ⑥ 第7次経営計画で検討項目とした改善策(J-クレジット制度の活用等、公社林隣接地の経営管理受託、県市町からの施業受託事業)に積極的に取り組んでいる。 ⑦ 新規借入を約定償還額以内にとどめ、借入金残高は逓減しており、第7次経営計画以上の成果を達成している。上記理由により、2.5点の加点を行う。

(今後の県の関与の方針)

林業公社は、森林の造成、管理、販売等の技術、ノウハウを有し、現地を熟知する専門機関であり、木材の安定供給をはじめ、水源涵養、 土砂災害防止、地球温暖化対策、生物多様性への寄与など森林の持つ公益的機能の維持、増進等について重要な役割を担っているが、 設立時に自己資金がなく、伐採までの長期間に亘り収入がない状態で事業費を負担する必要があるため、補助金等の交付、無利子貸付に よる資金供給等の支援を行なう必要がある。県として今後も資金供給等の支援を継続し、森林、林業施策について連携を図っていく。